

記者発表資料
 平成26年 2月20日
 河川課ダム整備班
 担当：星、遠藤
 内線：3182

試験湛水中の長沼ダムが洪水時最高水位に達する見込みとなりました

長沼ダムにおいて、平成25年11月1日からダム本体及び貯水池周辺地山の安全性を確認するため試験湛水を行ってきましたが、洪水調節のための最高の水位である洪水時最高水位（K.P.12.6m）に2月23日（日）午前に達する見込みとなりましたので、お知らせします。

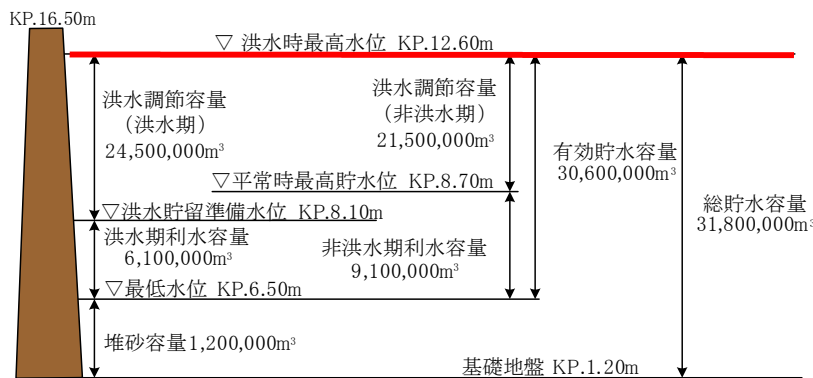
洪水時最高水位に到達したあとは、1日間貯水位を維持し、その後貯水池運用計画上の最低の水位である最低水位（K.P.6.5m）まで貯水位を徐々に低下させ試験湛水を終了する予定です。

○長沼ダム建設事業

- ・ 目的： 迫川における洪水防御
 流水の正常な機能の維持
 レクリエーション（漕艇競技コースの確保）
- ・ 型式： アースフィルダム
- ・ 堤高： 15.3m ・ 総貯水容量： 31,800,000m³

・ 事業経緯

- 昭和46年 実施計画調査着手
- 50年 建設事業着手
- 55年～ 戦元年
 補償基準妥結（4地区）
- 57年 湖周道路工事着手
- 63年 導水路盛土工事着手
- 戦12年 ダム本体工事着手
- 25年 試験湛水開始



※ なお、低平地にある長沼ダムにおいては、迫川より導水した流水を仮設ポンプで長沼に汲み上げることにより試験湛水を実施しています。

貯水池容量配分図

状況写真 平成26年2月20日現在（貯水位 K.P.12.51m）



長沼ダム上流



長沼水門